

## FAQ

質問事項	回答	備考
Pacific-LEADSについて		
JDSでは、大学独自のプログラム実施を必須としているが、Pacific-LEADSも同様か？	必須ではありません（ABEイニシアティブも同様）。	
既に修士を保持している応募者は対象となるか？	応募要件に「学士のみ」と限定していないため、修士を持っている方が応募する可能性はあります。大学で可否は判断してください。	
今後博士課程も想定しているか。応募者が修士後に博士進学を希望した場合は個人負担か？	現段階で、博士は想定していません。修士後の進学については自己負担となります。	
大洋州諸国は人口差が激しいが、国別の受入れ人数目安はあるか？	各国の人口の他、産業や重点開発課題によって受入れ人数のバランスを考えます。	PNG人口が最も多く、約700万人。最少はニウエ1500人。14か国全体では約1000万人。
推奨コースについて		
現状では、大学院コースは通常2年がほとんどである。調査票によると、1年ないし1年半のコースを推奨しているように見えるが？	2年（2年半）で問題ありません。1年コースの需要も高い為、もし短期コースがあれば教えてください。なお、2年コースが不利になるという意味ではありません。	
要件に「毎年2、3名の受入れが可能なこと」とあるが、上限はあるのか？	上限はありません。	
推奨コース以外への応募もありうると記載してあるが、どのような場合を想定しているか。またそのプロセスは？	原則的に、推奨コース登録大学へ応募してもらうが、特殊な分野などで応募がある場合などが想定されます。その場合は、希望大学/研究科が要件を満たしていることを確認し、調査票を提出していただくことになります。	
指導分野について、実施概要には「防災、気候変動、環境、持続可能な開発、大洋・海洋問題・漁業、貿易・投資・観光、経済政策等」とあるが、他の分野でもよいのか。	実施要領には、第7回島サミットで発表された分野をあげていますが、各国の開発課題の解決に資する分野であれば、どんな分野でも問題ありません。以下、参考ページです。 【島サミット】 <a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/ocn/page22_001669.html">http://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/ocn/page22_001669.html</a> 【太平洋島嶼国情報（「我が国の政府開発援助」ご参考）】 <a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/pacific.html">http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/pacific.html</a> 【JICA大洋州サイト】 <a href="http://www.jica.go.jp/regions/oceania/index.html">http://www.jica.go.jp/regions/oceania/index.html</a>	
ABEイニシアティブ、PEACEでは、詳細な大学情報を提供している。推奨コース決定通知が12月末で、応募開始が1月とあるが、いつまでに詳細情報を作成する必要があるか？年末年始は事務がストップしているため、難しい。	第1バッチに関しては、スケジュールがタイトであるので、ABE/PEACEのような詳細情報提出は依頼できないと考えています。今後の状況次第では、応募者には各大学（研究科）のWEBページを紹介するに留まる可能性もあります。	
選考について		
来日時期は秋もしくは春とあるが、試験は2回実施するのか？	試験は毎年1度のみ実施します。大学のコース設定によって、同年9月または翌年3月の来日となることも可能である。両スケジュールとも研究生（6ヶ月）としての入学が可能です。	
研究コース/指導教官は研修員（入学者）が選ぶのか？	Application Formに、指導教官名まで記入するようになっています。ただ、ミスマッチも起こりうるため、大学での審査の中で確認してください。その結果で変更していただいて結構です（ただし推奨コース登録研究科内）。	
研究科のマッチングはJICAが行うのか？	応募書類に記載された大学/研究科で審査していただく予定です。研究内容が合致しない場合は推奨コース登録研究科の中で調整いただいても良いです。	
数学試験の足切りは行うのか？	基本的にJICAでの選考は人物スクリーニングのため、学力判断は大学にお任せします。ただ、応募が多数である場合など、点数での足切りもあり得ます。	
ABE/PEACEのように応募者からの事前コンタクト期間を設けるか？	ミスマッチを防ぐため、事前コンタクトは推奨したいのですが、第1バッチに関してはスケジュールがタイトなため、一定期間のコンタクト推奨が難しいと考えています。しかし、各大学の情報は何らかの形で公開するため、応募者からコンタクトがある可能性はあります。	
大学との面接の方法は？	応募者1名ずつのTV会議ないしWEB会議面接を予定しています。大学側面接官数は任せます。なお、インターネット環境が良くない為、Skype面接は想定しておりません。	
調査票について		
調査票は、大学でまとめるのか、研究科ごと提出するのか？	調査票の作成は研究科ごとですが、提出は大学でまとめていただいても構いません。	
「大洋州諸国との連携実績」は相手国政府との連携のみか？	大洋州諸国の事情や文化を理解した上で受け入れて頂くことが望ましいと考えています。同観点から、政府との連携に限らず、何等かで大洋州諸国との繋がりがあれば教えてください。	
実務研修（インターンシップ）について		
ABEイニシアティブでは修了時インターンシップの期間は最長6ヶ月であるが、Pacific-LEADSも同様であるか？	対象が行政官のため、原則的に夏休みなどの長期休暇中に2週間程度の実務研修を実施予定です。したがって修了時の長期実務研修は想定していません。	
実務研修の受入れ先調整はJICAが行うのか？	受入れ機関との調整はJICA（運営支援機関）が行う予定です。一方で、受入れ機関を大学に紹介していただくと助かります。	
実務経験受入機関を紹介できる場合、先方との調整をどこまですべきか？	受入れ機関をご紹介していただけるだけで十分です。その後の詳細な調整はJICAが行います。	
特別プログラムについて		
特プロについて	ABEイニシアティブ、PEACEと同様な制度ですが、域外研修の可能滞在日数については検討中です。	
日本語の補助授業の特プロでの支出は可能か？	可能です。ただし、研修員の履修必須講義の場合は支出不可です。	
その他		
大学入学書類は通常手書であるが可能か？	郵便事情が良好でない国が多い為、柔軟な対応をお願いします。	
各国の教育事情を事前にいただきたい。	了解しました。早急に各国より取りつけます（12/4頃公開予定）	
事前の問合わせメールをJICAに転送しても構わないか？	回答が困難であるメールなどは、JICAにそのまま転送いただければ結構です。	
大学が賃貸物件を紹介する場合、調整（契約）まで行う必要があるか？	大学寮等の情報提供や紹介をしていただくとありがたいです。入居に関する手続きや契約はJICAで行います。	

応募者の研究内容と志望研究科が合致しない場合不合格とするのか、応募者には再チャンスはないのか？	応募書類には少なくとも第二志望まで記入するため、第一志望で落ちた場合は第二志望の大学で審査していただく予定です。	
検定料の支払いは最終合格者のみか？	最終合格者のみです。本選考は「プレ選考」という位置づけであり、各大学への入学書類を提出した時点が本選考という考え方に基づくものです。一方、書類審査に対して謝金をお支払いします。	